

神田通信

二度喪主の妻をつとめました。
交わりゆく身辺です。(和美)

受けた。皆さまもこまめに水分
を。(楡垣)

◆今号は、藤田美智子歌集『徒
長枝』の批評号。著者とは地中

◆会員名簿の作成にむけて、支
社・グループ長の方々に確認作
業をお願いいたします。また、
秋の実務委員会は11月27日(水)

◆孫の小学校の運動会を見に行っ
た。競技にはそれぞれすてきな
題がついているが、見てみると
綱引きだったり玉入れだったり。

◆レジ袋はゴミを入れるのに最
適でその後は焼却炉でしっかり
燃料の一部となる。こんな優れ
ものをどうしてなくそうとする
のだろう。(成彦)

◆五月に行なわれた全国大会の
報告。写真提供は茂木さんです。
集合写真はエスカレーターを止
めて、でした。来年の全国大会
は5月31日・6月1日。浜松駅
に隣接したホテルで開催されま
す。ご予約ください。

に變更しました。よろしくお願
いいたします。(藤森)

◆猫たちが突然パタパタと走り
出したので昼寝から覚めた。何
かとベランダを見ると大きな猿
がこちらを見ていた。キョッ。
またまた猿が出た。(三好)

◆自宅の解体工事を前に片付け
作業に追われた。子どもの頃か
らの膨大な量の財産(一)手紙
の束や写真……。思い出にひたっ
てはそれを断ち切ることの繰り
返しだった。(藤田)

◆今年度A欄に昇格された方は
8月10日締切の原稿から七首で
す。お忘れなく。(久我)

◆六月号の玉城徹の『沖繩』
という歌集』の転載は胸に沁え
た。日を追うごとに重く横たわ
る。玉城の誠実な文章も桃原邑
子の叫びも心に染みる。(磯田)

◆G20大阪サミットが6月28・
29日に開催される。交通規制だ
けでなく府下の小中高校は二日
間休校、ゴミ収集も一部休止。
安心・安全な環境確保のためと
はいえ府民はつらい。(高尾)

◆まず新聞社名を出して、作品
を褒めあげ、新聞に作品の掲載
をと勧誘する電話がこのところ
会員の皆さんのごところに頻繁
にかかっているようです。掲載料
としては高額な請求があるよう
です。甘い言葉にご注意を！

◆8月・9月の本社予定●
8月5日(月) ……校正
8月19日(月) ……編集
8月31日(土) ……歌会
※8月の歌会は第5土曜日に
9月6日(金) ……校正
9月17日(火) ……編集
9月28日(土) ……歌会

◆谷崎潤一郎の『芦刈』のイン
トロに水無瀬神宮のくだりがあ
るといふ。大会の帰りに島本駅
で降りて私も訪ねて見た。神門
に残るといふ五右衛門の手形は
見られず残念でした。(茂木)

◆馬鈴薯の「ゴロゴロ植え」を
教わり、一部この方法で。種芋
を地面に置き黒マルチをかけて
芋を掘らずに拾って収穫。さて、
出来は如何にと。(浜谷)

◆6月14日(金)、今号の編集
作業。右手首を骨折して外出を
控えていた関根和美さんが久し
ぶりに本社へ。皆と話している
うちに元気になっていくのを見
て、ほっとしました。地中海バ
ワーかもしれません。

◆三ヶ月ぶりの本社です。和食
の店がコンビニに！驚き、さ
びしい。私も療養中に二人送り、

◆三ヶ月ぶりの本社です。和食
の店がコンビニに！驚き、さ
びしい。私も療養中に二人送り、

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

◆六月最終週に入っても快晴。
梅雨入りは未だ。九十五歳のは
は、足がひきつり、ふらふらむ
かむかを訴え、熱中症の診断を

クリップ

■入会届・退会届について

葉書に、①氏名（ふりがな）

②住所 ③電話番号 ④生年月日 ⑤性別 ⑥送本開始（停止）月を記入の上、本社に提出してください。退会届の場合は、①②⑥の記入をお願いします。急な送本停止には対応しきれませんので、ご了承ください。

■会費納入について

三月末をもって会計年度の締めになります。新年度が始まりました。二〇一九年度分の会費を納入してください。会費は、半年分、または一年分を前納することになっていきます。各欄の月額は次の通りです。

- ・ A 欄 二〇〇〇円
- ・ B 欄 一五〇〇円
- ・ C 欄 一〇〇〇円
- ・ 購読 一〇〇〇円

二十歳未満の学生は五〇〇円です。（若い人たちも是非ご勧

誘ください）

00160・4・179569 地中海社

振替用紙の連絡欄に内訳を書きください。支社・グループでまとめて納入していただくと幸いです。

■原稿用紙の申し込みについて 一冊一五〇円。それに送料がかかりますので、まとめてのお申し込みがお勧めです。本社、または担当の茂木斌までご連絡ください。

■本誌の追加注文について

本社に葉書にてご連絡ください。代金は一冊一〇〇〇円。会費と同じ「地中海社」の口座にお願いします。

■見本誌について

勧誘用に見本誌をお求めになる場合は、送料のみご負担いただきます。二冊までなら二〇〇円分の切手を同封してお申し込みください。

■歌集を出版する際には

地中海叢書番号をご請求ください。葉書に住所氏名の他に、①歌集名（未定の場合には仮題

でも）②発行時期 ③版元を記入して本社宛に。折り返し、登録した叢書番号と事務手続きの文書をお送りいたします。

出版後には本社保管用に一冊お送りください。

■九曜書林は、比較的安価な歌集出版を考えていて、自分ではどうしていいか分からず困っている方のために立ち上げました。印刷・製本は、本誌の印刷をしている京成社にお願いしています。二、三〇万円くらいでも予算に応じた出版が可能です。まずは、編集部にご相談ください。

■桃原邑子歌集

『沖繩〈新装版〉』注文受付
ご注文を受け付けています。
一冊2000円（税と送料は桃原氏負担）です。六花書林からの出版ですが、代金の振り替えは九曜書林の口座を使わせていただきます。口座への代金納入をもってご注文とさせていただきます。冊数・氏名を明記の上、左の口座へお願いします。

本社よりスマートレターにてお送りいたします。

■本社への連絡について

葉書か封書でお願いします。電話はありませんが、常駐する者がおられますので、誰かが本社で作業している時にしか通じません。急を要する場合は、

・ 藤森：☎ 090-8301-6423
・ 久我：☎ & FAX 043-241-7925

までご連絡ください。

■本社の窓口は、いつでも開いています。どんなことでも遠慮なくご相談ください。歌集の出版につきましても、予算やご希望に応じてできる限りの対応をさせていただきます。ご意見その他もどうぞお寄せください。

● 訃報 ●

六月七日、元長浜グループ長・吉内尚彦氏、ご逝去。謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

00180・2・79055 九曜書林

◆青天 五月号 編集・発行人 堀部知子
第三六卷第五号通卷四一—号総頁数一二二頁
*「詩歌」の若き歌人たち―『發生』につ
いて―

大正四年発行の『發生』は「詩歌」の合
同歌集の第一集、前田夕暮編。評者の北田
肇は「創刊して五年目の『詩歌』が軌道に
乗って夕暮自らも充実感を味わっている様
子がうかがえる」と。「白日社―詩歌」の
存在をアピールするのに選ばれた九名は年
齢が十八歳から二十八歳と驚くほど若い。

「詩歌」の「新人歌人」として世に送り出
そうとした夕暮の意気込みどおり、いずれ
も後年「詩歌」を代表する人たちである。

うづくまり春の木かけに山独活の芽を掘
るときも君を忘れず 熊谷 武雄

青磁色の甕を抱ける尼僧ありて沼への森
にしろつばき咲く 米田 雄郎

*口語自由律の時代

今年刊行された『口語自由律短歌の人々』

(光本恵子著)の中から昭和十五年に出版
された「前田夕暮編『詩歌作品』の作者た
ち」に注目。この書に取りあげられている
一〇八名の作品から九氏の作品を抄出して
いる。

・眠らうよ、赤い入目を抱いて、ごそり葉
のなかに眠らうよ

・土塗りの部屋にごそり寝て、眼を閉ち、

眼をあげ、こんな素朴なころ

香川 進

・おのれを新しく否定しはじめた。この飢
ゑごころ、野芹青い 前田 夕暮

評者の堀部知子は(参加者の作品はこの
三年後に「詩歌」の仲間と共に「口語自由
律」から「定型」に戻っていく。時には時
代を遡って「青天」のルーツを辿る時間を
持ちたい」と記す。今号の二編によって
「青天」のルーツ「詩歌」を源流まで遡っ
て辿ることが出来た。

最近の 歌誌より

天 花
青 心

(高尾)

◆心の花 五月号

編集発行人 佐佐木幸綱

通巻一四四七号 総頁数一二〇頁

*今月の十五首を読む 佐佐木幸綱・選

・へべれけでそれでも議論をふっかけて負
けても勝っても小紋さんだった

武田ますみ

・朝酒はうまくなかった昨晩の鍋の残りと
窓の陽射しと

高山 邦男

二首とも昨年末に七十一歳で亡くなった

小紋潤追悼の作。「若き日の文学青年だっ

た小紋君を彷彿とさせて、追悼歌として忘
れたい」「徹夜で飲み、明け方近くに少
しだけ仮眠した朝のけだるい空気が。そんな
思い出をていねいに作品化している」

*特集「短歌の継承―短歌と教育―」をテ
マに教育現場に詳しい評者による三編。

①「創作活動の課題と意義」

「学習指導要領」の改訂とともに「書く
こと」の言語活動の例として創作活動が盛
んになってきた経過と位置づけを考察。生
徒の事例をあげて短歌の創作活動によって
資質・能力が育まれた成長過程を報告し、
創作活動の意義をとらえている。

②「短歌の教育的価値と意義」

短歌教育の低迷は伝記重視の教育内容、
指導者の苦学意識、SNS依存の児童生徒
等に起因すると指摘。SNSの急激な進歩
の中で自己表現を見失っている児童生徒も
多く、短歌の形式とサイズは自己表現の実
現性のために最適だと教育的価値に可能性
を見出している。

③「想像と対話の力を短歌から教育へ」

短歌をはじめ文学教材の国語教育が知識
詰め込み型に陥っている現状を分析。短歌
の学習活動が次期学習指導要領の目玉「ア
クティブラーニング」の実践に合致する学
びになり得ると提言している。